



2026 FJ Race report



FJ1500/S-FJ オートポリス選手権シリーズ

GOLD CUP RACE Round.1

2026年4月5日 天候:晴れ 参加FJ1500/8台、S-FJ/6台



テキスト:はた☆なおゆき

日本独自のエントリーフォーミュラである『FJ』は、2026年より第3章を迎える。FJ1600として1980年にスタートし、2007年からスーパーFJが、そして新たにFJ1500がコンセプトを受け継ぐこととなった。

より安全性を高め、より実戦的に。ドライバーの頭部保護デバイスである第3ロールバーを装備し、車体前後のクラッシュブルストラクチャーを強化。ホイール脱落を防ぐテザーワイヤーが備えられた。そして現代のフォーミュラには当たり前となったパドルシフトに改め、最低地上高も下げられて、運動性も向上させている。また、スーパーFJに搭載されていたエンジンも生産中止から久しく、パーツ確保が困難になりつつあることから、新エンジンに改められている。

すでに「鈴鹿・岡山シリーズ」、「もてぎ・菅生シリーズ」、「筑波・富士シリーズ」が第1戦を終えており、「オートポリスシリーズ」も遅れてスタート。それでもFJ1500は8台もの参加を集めることとなった。こうしてFJ1500地方選手権の全4シリーズが開幕を迎えたことになる。

オートポリスシリーズは従来どおり全5戦の開催を予定し、いずれもスーパーFJとの混走となる。なお、移行期間として2028年まで3年間は、両クラスにJAF地方選手権がかけられる。

FJ1500のエントリーが8台となり、スーパーFJの6台を超えたのは少々意外な感もあった。このあたりは地元エントラントの新しいことにトライしてみたいという、意識の高さを感じずにはいられない。

公式予選

日曜日には予報どおり天気は前日より一転し、ほぼドライコンディションとなって、全車がドライタイヤを装着して予選に挑んだものの、それまでの他レースの予選でコースアウトが相次いだこと、さらに土曜日の雨で土も流れ、路面状態も変えていた様子。

そんな状況の中、計測1周目からあと一歩で2分切りとなるタイムで、トップで戻ってきたのが#22 酒井選手だ。計測2周目には1分 58 秒 642、次の周には1分 57 秒 817 にまで縮めてきたが……。

計測2周目には1分 58 秒 840、計測3周目には1分 58 秒 103 と、#22 酒井選手に準じていた#56 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)が、計測4周目に1分 57 秒 417 をマークしてトップに浮上。その後の周回は、ともにタイム短縮ならなかったこともあり、#56 永原選手がポールポジションを獲得する。3番手は計測6周目に1分 57 秒 911 を記録した、#55 田崎脩馬選手(MYST 制動屋 KK-F)。すでに鈴鹿、もてぎで FJ1500 を経験済で、地元熊本出身のドライバーながら、オートポリスでは初レースとなる。4番手につけたのは、スーパーFJ の#75 坂本秀平選手(UI オートサービス/ORM/C.O.B)で、1分 58 秒 972 をマーク。昨年はランキング3位で、#22 酒井選手や#56 永原選手が FJ1500 に移ったからには、もう絶対に負けられない立場ではある。

同じくスーパーFJで6番手につけたのは、#11 岸風兎選手(ドッグライフプランナーズ・タツミ KK-SII)だ。昨年は FIA-F4、F110 CUP を戦っていたドライバーとあって、実質ステップダウンではあるものの、再出発を誓ってのシリーズ参戦となる。2分00秒 146 は、#75 坂本選手に1秒以上離されているものの、どこまで食らいついていけるのか注目される。そして、同クラスの3番手には#13 佐藤修平選手(株式会社あおい空調 COB タツミ)がつけていた。

ポールポジション: #56 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「自分は路面の濡れているところを確かめながら走って、内圧をしっかり温めていこうって形で走って行って、一発に賭けたって感じです。なので、狙いどおりでした。今年はオートポリスでタイトルを獲って、あとはスーパー耐久の方にも力を注ごうかって考えですね。決勝はとりあえず、逃げ切って勝ちたいですね、その一心です！」



予選 2 番手: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「今週のドライで、いちばん温度が低かったのに、アタック早めにしすぎて、自分が出すタイミングを誤ってしまいました。路面は濡れてはいないですけど、土が出ていたりして、あんまり路面の条件は良くなかったですね。決勝はスタートに自信があるので、スタートで前に出て、たぶん序盤のペースは僕の方があるので、そこはしっかり自信持っていきたいと思います。はい、1年前とは違ってスタートも成長しましたね(笑)」



予選 3 番手: #55 田崎脩馬選手(MYST 制動屋 KK-F)

「練習までは良かったんですけど、今ちょっと、昨日、雨降って路面も変わって、車のセットをうまくできなかったところがあって、そこがちょっと悔しかったです。地元ですが、オートポリスでレースするのは初めてなんです。経験のある、前のふたりにどこまで食らいついていけるか、頑張ります」



予選 4 番手／スーパーFJ トップ：#75 坂本秀平選手(UI サービス/ORM/C.O.B)
「思ったよりも路面が良くなかったですね。けっこう滑りやすい状況で、運転すること自体は、すごく難しかったです。濡れてはいなかったんですが、埃なのか砂なのか、すごく滑りやすいんで、特にセクター3、ツイスティなコーナーは滑りやすかったです。勝ちたいのは間違いないです(笑)。FJ1500 とはタイム差が大きいので、その後ろ姿をなるべく長く見渡せればいいですね。ひとまず今回、クラスの中で優勝したいです。スーパーFJ で 1 年間、戦って、日本一も今年は出たいと思っています」



予選 6 番手／スーパーFJ2 番手：#11 岸風児選手(ドッグライフプランナーズ・タツミ KK-SII)

「やっぱりセクター2 の回し込み方が、ちょっと足りないですね。だけど、学習できることは学習して、決勝はグリッドの前に 1 台、坂本選手がいるので、学ぶところ学んで、ワンチャンスあればいいけど、このタイム差だとなかなか！ でも、頑張ります」



予選 8 番手／スーパーFJ3 番手：#13 佐藤修平選手(株式会社あおい空調 COB タツミ)

「ちょっとタイム出すのに、前半手こずってしまいました。後半やっと落ち着いてドライブしたところで、タイム出て良かったです。昨日の雨で路面も変わって、最初は様子を見ながら走ろうと思っていました。決勝は、今の順位をスタートでキープできれば、と思っております」



決勝

決勝レースは 10 周での争い。予選は薄い雲を上空に浮かべていたが、もう青空が広がるようになり、路面は完全にドライコンディションとなっていた。さて、注目のスタートだが、誰より鋭く飛び出したのは、2 番手の #56 永原選手だった。1 コーナーへのホールショットを決め、#22 酒井選手を従える。一方、#55 田崎選手が出遅れ、3 番手に躍り出たのはスーパーFJ の #75 坂本選手で、4 番手には #48 村上太晟選手(ファーストガレージ BLAU KK-F)がつけ、2 ポジションアップ。#55 田崎選手は 5 番手で、#11 岸選手、#13 佐藤選手がその後に続く。



1 周目を終えた時点で、トップ #56 永原選手と #22 酒井選手の差は、わずかコンマ 4 秒。#56 永原選手の走りを背後から冷静に見つめていた #22 酒井選手は、早々と勝負をかけて 1 コーナーでオーバーテイクを試みる。ここでは抜ききれなかったものの、3 コーナーで完全に前に。3 周目を終わると、#22 酒井選手のリードは 1 秒にも広がっていた。

そして、#56 永原選手には無情の宣告が。スタート手順違反があり、10 秒のタイムペナルティが告げられたのだ。同様のペナルティが 5 番手を走る #55 田崎選手にも。#22 酒井選手からは離されていた

が、スーパーFJの#75 坂本選手はもとより、同じFJ1500の#48 村上選手とは、この段階で5秒もの差があった。そのままであれば、タイムペナルティを課せられても2番手はキープできそうだったのだが。

#56 永原選手に対する無情の宣告がもうひとつ。100Rでスピンして止まった車両を回収するため、セーフティカーが導入されてしまったのだ。隊列が築かれてしまい、後ろとの差も詰まることに。先導は3周に及び、リスタートに賭けるも、#22 酒井選手は逆転を許してくれず。

最後は1秒7の差をつけ、#22 酒井選手がトップでチェッカーを受け、続いて#56 永原選手がゴールする。さて、FJ1500で次に来るドライバーとの差はいかに？

3番手に躍り出ていたのは、8周目に#48 村上選手を抜いていた#55 田崎選手だったが、タイムペナルティで降格は免れず。すると、#48 村上選手との差は……。8秒で、#56 永原選手は3位で、#48 村上選手とポジションを入れ替える格好となった。

一方、スーパーFJでは#75 坂本選手が終始トップを守り、嬉しい初優勝を飾る。最後のストレートで#55 田崎選手に迫られた格好ではあったが、辛くも逃げ切りを果たしていた。

スーパーFJの2位争いも熾烈を極め、#11 岸選手、#13 佐藤選手、そして#31 古賀徳吉選手(CS ふうだ ★碑文谷薬局★若狭建設 COB)による三つ巴となっていた。4周目の第1ヘアピンで、まず#31 古賀選手が3番手に浮上。リスタート後の#13 佐藤選手のペースが上がらず、順位を落としてしまうも、#11 岸選手に#31 古賀選手がなおも食らいついて離れない。ゴール時の両者の差は、わずかコンマ3秒だった。



FJ1500の表彰式、左から2位/村上選手、優勝/酒井選手、3位/永原選手
優勝：#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「スタートは僕がミスったというより、蒼翔選手がめちゃくちゃ決まっっていて、『やばい、ちょっと置いといたな』っていうところはあったんですが、蒼翔選手が1周目、すごくブレーキがロックしていて。それで2周目、仕掛けられるかなと思ったら、1コーナーでロックして、ちょっとオーバーラン気味になったので、そこはチャンスかなと思ったら、案の定うまく抜けたので、良かったと思います。FJ1500では初優

勝、3月の鈴鹿では悔しい思いをしちゃったので、とりあえずまず1勝、勝つことができ良かったです。車もちょっとずつですけど、だいが戦えるようにはなってきたと思います。今年は出られるところはあるという感じなんです」



スーパーFJの表彰式、左から2位/岸選手、優勝/坂本選手、3位/古賀選手
2位/スーパーFJ優勝:#75 坂本秀平選手(UI サービス/ORM/C.O.B)

「最後、かなり迫られていたんですけど、バクバクでした。ただ、抑えきれて楽しかったです。初優勝、長かったあ〜。スポットでは一昨年から出ていたので3年目で、開幕で勝たかったんで、良かったです。チャンピオン目指して、頑張っていきます！」

3位/FJ1500 2位:#48 村上太晟選手(ファーストガレージ BLAU KK-F)

「オートポリスって、すごくタイヤに厳しいサーキットで、最後の方はフロントタイヤが逃げていっていたので、そのタイヤマネージメントを、今回すごく学べたと思います」

4位/FJ1500 3位: #56 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「ギヤを入れたところで、少し動いちゃったという自覚はあったんですが、すぐに止めたんですけどね。あのタイミングじゃ、もうダメなんですか。うまいことスタートで前に出られたんですけど、翔太くんとは速いところ、遅いところが違って、抜かれてしまいました。次は勝ちます、今年はチャンピオン獲ります！」

5位/スーパーFJ2 位:岸風児選手(ドッグライフプランナーズ・タツミ KK-SII)

「スタートだけしかいいところなかったんですね、今回は。ちょっと離されちゃいましたね、シフトミスとかあったりして。こないだまでパドルシフトしか乗っていないので、すごく楽しかったですけど、ミスが多かったので、また次回もオートポリス出るつもりなので、頑張ります」



ジェントルマンクラスの表彰式、左から 2 位/大隈選手、1 位/古賀選手、3 位/JUN 選手
6位/スーパーFJ3 位/ジェントルマンクラス1位:#31 古賀徳吉選手(CS ふくだ★碑文谷薬局★若狭建設 COB)

「バトルは楽しかったです。抜いたのは、まず1コーナーで抜いて、2 台目はストレートで抜いたんだっただかな。2 台抜いて、このポジションに上がりました。追いついていたんで、なんとか食らいついていきたい。途中、セーフティカー出なかったらねえ！ 実は MINE で 30 年ぐらい前にも FJ やっていて、戻ってきてやっと表彰台に立てました」





GOLD CUP RACE ROUND.1

2026 in AUTOPOLIS



11

スーパーFJ・FJ1500 地方選手権 第1戦

FJ 公式予選

2026 / 4 / 5 11 : 03



正式結果

Weather :曇り

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track :ウエット

Pos	No	Note	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	56		FJ1500	1	永原 蒼翔	ピットワークながはら/MYST	MYST KK-F	1'57.417	5 / 8		143.305
2	22		FJ1500	2	酒井 翔太	ファーストガレージ	MYST KK-F	1'57.464	6 / 8	0.047	143.247
3	55		FJ1500	3	田崎 脩馬	MYST 制動屋 KK-F	MYST KK-F	1'57.911	7 / 8	0.494	142.704
4	75		S-FJ	1	坂本 秀平	UIオートサービス/ORM/C.O.B	MYST KKS-II	1'58.972	7 / 8	1.555	141.432
5	48		FJ1500	4	村上 太晟	ファーストガレージ BLAU KK-F	MYST KK-F	1'59.173	6 / 8	1.756	141.193
6	11		S-FJ	2	岸 風児	ドッグライフプランナーズ・タツミKKS2	MYST KKS-II	2'00.146	5 / 8	2.729	140.050
7	15	G	FJ1500	5	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-F	2'00.789	4 / 8	3.372	139.304
8	13	G	S-FJ	3	佐藤 修平	株式会社あおい空調COBタツミ	MYST KKS-II	2'01.276	8 / 8	3.859	138.745
9	31	G	S-FJ	4	古賀 徳吉	CSフクダ★碑文谷薬局★若狭建設COB	MYST KKS-II	2'01.421	5 / 8	4.004	138.579
10	19	G	FJ1500	6	大隈 雄策	ミシレーシング オガテック kk-F	MYST KK-F	2'01.541	8 / 8	4.124	138.442
11	98	G	S-FJ	5	JUN	BlueStyle・オガテック ER2C	MYST KKS-II	2'02.242	6 / 7	4.825	137.648
12	61	G	FJ1500	7	山浦 資智	帰ってきた61DRB MYST KK-F	MYST KK-F	2'04.114	7 / 7	6.697	135.572
13	6	G	FJ1500	8	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-F	2'05.323	6 / 7	7.906	134.264
14	58	G	S-FJ	6	綾 真則	WEST17J	WEST17J	2'07.079	6 / 6	9.662	132.409

***** 以上予選通過 (FJ1500 : 2'32.876 - 130% /S-FJ : 2'36.170 - 130%) *****

Entry :14 Start :14

Start Time :9:40'00 Finish Time :9:55'00

計時委員長

黒崎 豪

競技長

[Signature]

審査委員長

[Signature]

Timing and Results by SEIKO



GOLD CUP RACE ROUND.1

2026 in AUTOPOLIS



28

スーパーFJ・FJ1500 地方選手権 第1戦

FJ 決勝

2026/4/5 17:20



正式結果

Weather : 晴れ

Track : ドライ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Pos	No	Note	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. km/h	Best Time	
1	22		FJ1500	1	酒井 翔太	ファーストカレッジ	MYST KK-F	10	23'38.320		118.022	1'58.625	
2	75		S-FJ	1	坂本 秀平	UIオートサービズ/ORM/C.O.B	MYST KKS-II	10	23'45.633	7.313	117.416	2'00.345	
3	48		FJ1500	2	村上 太晟	ファーストカレッジ BLAU KK-F	MYST KK-F	10	23'48.443	10.123	117.185	2'00.449	
*1	4	56	FJ1500	3	永原 蒼翔	ヒットワークながはら/MYST	MYST KK-F	10	23'50.063	11.742	117.053	1'58.821	
5	11		S-FJ	2	岸 風児	ドックライフランナーズ・タツミKKS2	MYST KKS-II	10	23'51.489	13.168	116.936	2'01.886	
6	31	G	S-FJ	3	古賀 徳吉	CS77kg★碑文谷薬局★若狭建設COB	MYST KKS-II	10	23'51.877	13.557	116.904	2'01.311	
*2	7	55	FJ1500	4	田崎 脩馬	MYST 制動屋 KK-F	MYST KK-F	10	23'55.679	17.358	116.595	1'59.539	
8	19	G	FJ1500	5	大隈 雄策	ミシマレーシング オガテック kk-F	MYST KK-F	10	23'58.908	20.587	116.333	2'02.587	
9	98	G	S-FJ	4	JUN	BlueStyle・オガテック・ER2C	MYST KKS-II	10	23'59.729	21.408	116.267	2'02.970	
10	13	G	S-FJ	5	佐藤 修平	株式会社あおい空調COBタツミ	MYST KKS-II	10	23'59.961	21.640	116.248	2'02.812	
11	6	G	FJ1500	6	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-F	10	24'11.431	33.111	115.329	2'05.515	
12	61	G	FJ1500	7	山浦 資智	帰ってきた61DRB MYST KK-F	MYST KK-F	10	24'12.459	34.138	115.248	2'05.460	
13	58	G	S-FJ	6	綾 真則	WEST17J	WEST17J	10	24'18.954	40.634	114.735	2'08.316	
***** 以上完走 (規定周回数 FJ1500 : 9Laps /S-FJ : 9Laps) *****													
15	G	FJ1500			楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-F	3	14'19.740	7Laps	7Laps	57.701	2'02.098

Snipping Tool

Fastest Lap

FJ1500	1'58.625 (9 / 10)	141.845 km/h	22	酒井 翔太 / ファーストカレッジ
S-FJ	2'00.345 (9 / 10)	139.818 km/h	75	坂本 秀平 / UIオートサービズ/ORM/C.O.B

Start Time :15:24'00 Finish Time :15:47'38

Entry :14 Start :14 Finish :13

SC導入 :15:31'32(3Laps) ~ 15:41'31(7Laps)

*1 Car 56は、2026オートポリス一般競技規則 第13章 第31条9.違反(スタート手順)により、競技結果(23'40.063)に対し10秒加算のペナルティを課した。(裁定時刻 15:30)

*2 Car 55は、2026オートポリス一般競技規則 第13章 第31条9.違反(スタート手順)により、競技結果(23'45.679)に対し10秒加算のペナルティを課した。(裁定時刻 15:30)

計時委員長 黒崎 豪	競技長 [Signature]	審査委員長 菊池 雅彦
---------------	--------------------	----------------

Timing and Results by SEIKO

